



MONJU at present
高速増殖原型炉もんじゅ
プラント確認試験速報



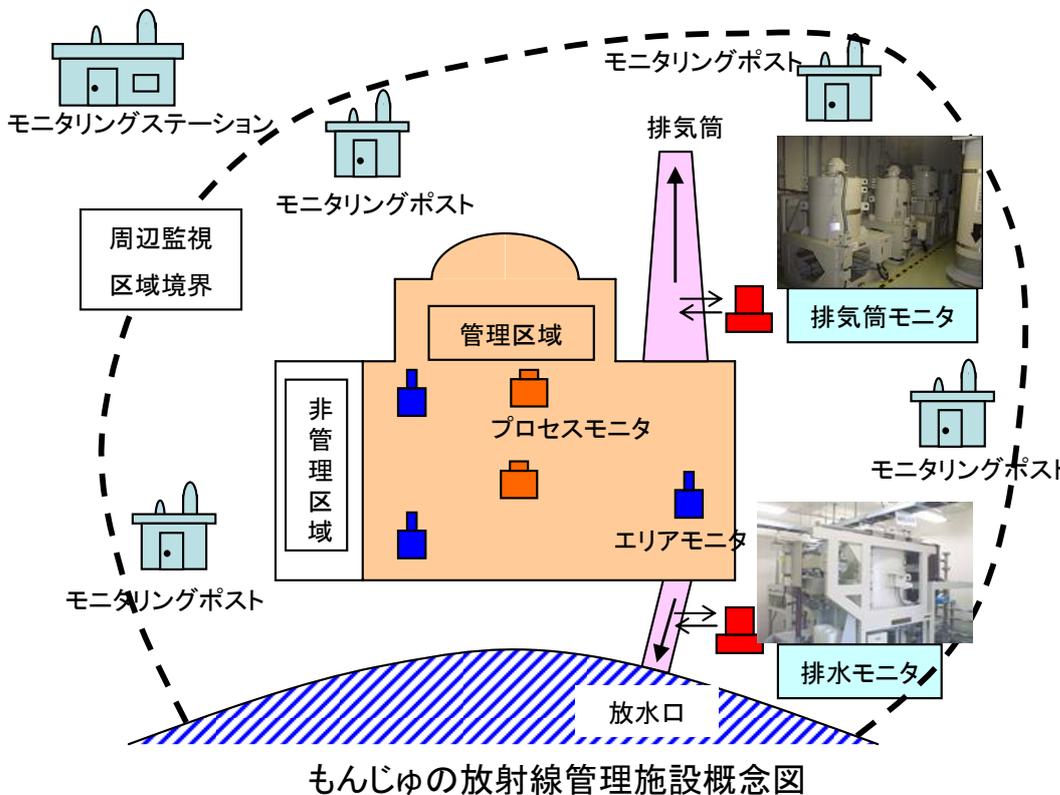
第9号

平成20年2月15日発行

試験件名	7. 放射線監視及び管理する機能の確認 (放射線監視装置機能確認試験)	当該試験速報回数	1
試験目的	プラントの安全性を確認するために、放射線管理施設の警報試験を行い、警報動作値及び警報動作の確認を行う。		
試験範囲	放射線管理施設		

主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
プロセスモニタリング設備(放出管理用)警報試験	プラントから排出する気体中と液体中の放射能を監視する放射能検出器(排気筒モニタ及び排水モニタ)の電気回路に模擬信号を入力し、あらかじめ定めた警報設定値以上に達した時に警報が適切に発報することを確認する。	良好	H20.1.28 ~ H20.2.8

(解説) 放射線管理施設には、①プロセスモニタリング設備(プラント流体中の放射能濃度や排気筒からの排気ガス、放水口からの排水中の放射能等を監視)、②エアモニタリング設備(エアモニタにて、屋内作業環境の放射線状況を監視)及び③野外モニタリング設備(モニタリングポスト、モニタリングステーション等)がある。
 本試験は、プロセスモニタリング設備のうち、プラントから環境へ放出される放射性気体/放射性液体の放射能濃度をそれぞれ最終的に監視する排気筒モニタ及び排水モニタの警報動作確認を行うものである。



警報動作確認風景
(中央制御室)

(試験概要)

- ・排気筒モニタ、排水モニタに電気信号を入力し、モニタ指示値を上昇させ、警報を発報させた。
 - ・警報が発報した時の値を読取り、その値が判定基準以内であることを確認した。
 - ・警報発報箇所の警報音の確認及び、表示名称、表示場所が正しいことを確認した。
- 以上の結果、排気筒モニタ、排水モニタとも警報動作が適切であることを確認した。